



飛島小・中学校だより

平成28年
8月23日発行
[電話番号]
96-3009



もくてき も がっき 目的を持ってすごそう2学期

始業式の校長
講話より



弘史郎君にこつこつ積み上げることを、コピー用紙の重さで感じてもらいました

まだある、まだあると思っているうちに、26日間の夏休みが終わりました。今年の夏休みと言え、昨日閉幕したりオ・オリンピックです。

特にバドミントン女子ダブルスの高松ペアの決勝戦は本当にわくわくしました。最終セット後半で2点リードされたときは、見ていて「ここまでか」と思いました。その後5連続ポイントで優勝したときはすごい精神力だと驚きました。自分たちの力を信じていたからこそ最後まであきらめず、全力を挙げてプレイできたのだと思います。

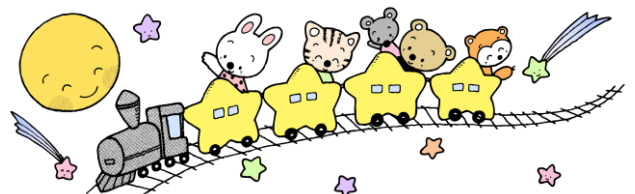
他にも、たくさんの感動を受けた試合がありました。ウエイトリフティングの三宅選手、卓球の男女団体、体操男子団体、柔道、水泳、レスリングの各種目、陸上の男子400mリレーなど印象的な試合ばかりでした。オリンピックでこんなにわくわくしたのは何年ぶりかな？と思うほどでした。

さて、今日から始まる2学期ですが、新君、弘史郎君とともにとても大切な学期です。新君には、本格的に中学校の学習内容が出てきます。1学期以上に分かること分からないことの違いがはっきりしてくると思います。また弘史郎君には、算数の比例や分数といった中学校の数学に結びつく勉強が出てきます。これは決して脅かすつもりで言っていることではありません。これからの見通しを持ってほしいと言うつもりでお話していることです。教室に戻ったら是非、教科書を開いてみてください。そして2学期に学習することを確かめてみてください。

最初にオリンピックの話をしてしましたが、今回のオリンピックで活躍した選手にはある特徴があります。それは、10代～20代前半の年齢の選手が数多くいたということです。のべ48人のメダリストのうち半分の24人が15歳から22歳。若くしてオリンピック選手に選ばれるということは小学生や中学生のころから、世界で競い合うことを目標にして練習を重ねてきたということです。

オリンピック選手に学ぶべき点は、この見通しを持ち、目標を定めて取り組むということです。オリンピック選手になることは難しくても、見通しや目標を持ち、毎日こつこつ取り組むことは私たちにもできます。

2学期も「わくわく、のびのび、最後まで」精神に加えて、毎日こつこつ取り組んでいく姿を見せてください。2人の頑張りを楽しみにしています。



おめでとう新君

平成28年度第60回記念酒田市民芸術祭「公募展」にて俳句の部、短歌の部2部門で優秀賞受賞（2部門入賞は成人を含めても新君のみです。）

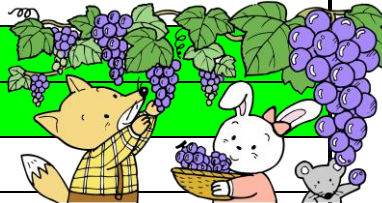
トビウオが夕日と沈む日本海

イカ釣り船と僕らの未来

沖合いにポツリポツリと見えてくる



9月の行事予定

日	曜	こ と が ら
1	木	クラブ活動 ALT
2	金	ALT
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	栄養士巡回指導
8	木	
9	金	
10	土	全国豊かな海づくり大会
11	日	全国豊かな海づくり大会
12	月	
13	火	壮行式（地区新人総合体育大会）
14	水	
15	木	クラブ活動
16	金	地区新人総体、小学校は通常授業
17	土	地区新人総体
18	日	
19	月	敬老の日
20	火	
21	水	
22	木	秋分の日
23	金	振替休業日（9/17分）
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	
30	木	中学校中間テスト

縄文生活は大変

7月26日（火）に山形県埋蔵文化財センターの先生方2名からおいでいただき、縄文時代の暮らしや国宝「縄文の女神」のレプリカ、縄文時代の遺物について学習しました。当日は、本校児童生徒の他、来島していた佐藤凧紗さん、土田陽君、弘史郎君の東京の友達4名も参加し、火起こし体験や勾玉作り、弓矢体験をしました。

文明の利器のない時代の苦労をちょっとだけ垣間見ました。

